

# 晩婚の良さもありますが、妊娠・出産・子育ては パワーのある若いときのほうが絶対いいですよ！



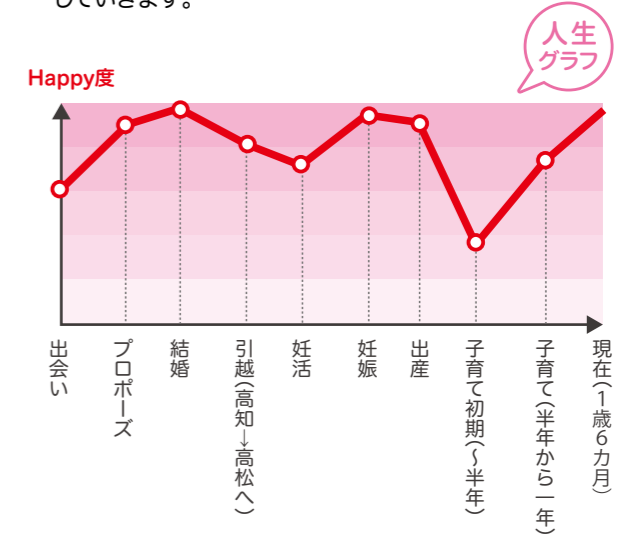
てるあき はな  
宮井 照暁さん 花さん  
あんじゅ  
杏樹ちゃん(1歳7か月)

## プロフィール

会社の上司・部下だったふたり。花さんの退職後、偶然の再会を機に恋愛～結婚へと発展。不妊治療を経て、昨年、杏樹ちゃんを授かりました。50歳の照暁さんは再々婚。花さんは40歳。結婚4年目。

## 我が家のライフプラン

若いときより、給料が高く貯金があるのも晩婚のメリットですが、高年齢ゆえ学資保険の掛け金が高い。割引率のいい年払いを選択するなど、工夫と知恵でやりくりしていきます。



## 再々婚もプラスポイント 失敗からの学びがある

**花** もともと結婚願望は無かったのですが、彼と交際を始めたら、「彼の子どもが欲しい」と思ったんです。それが結婚のキメテですね。

**照暁** 妻は経済観念がしっかりしていて、聡明です。優しくフォローもしてくれる。僕は実は再々婚なんですけど子どもは初めてで…。

**花** 夫の離婚経験は、私にはプラスポイントです。夫は失敗しているからこそその学びがあって、気配りもでき、家事もやってくれます。私は母が専業主婦だったので、自分も専業主婦がいいなと思っていました。夫に経済力もあるので、それも叶っています。妥協せずに結婚を遅くしただけのことはあったかな、と思っています。

## 不妊治療を経て懐妊！ 出生前診断も受診

**花** 子どもはすぐには授かりませんでした。高知出身で、結婚して高松市に越してきたので、どこの病院がいいのかもわからずで。たまたま近所にできた産婦人科が不妊治療を行うと聞き、通うことにしました。幸いにも、約1年の治療で子どもを授かることができました。

**照暁** 不妊治療については、自然の流れですね。日常会話で「年齢的に早く産まないとしんどいよね…」と話していたので。

**花** 高齢出産なので、生まれる子どもの健康が気がかりで、出生前診断を受けました。夫は9歳年上。将来、子育てしながら夫の介護もありうる。差し迫った危機感と憂いがありました。

## 用語説明

### ● 高齢出産

日本産科婦人科学会によると高齢初産とは、35歳以上の初産と定義されています。女性が35歳以上で初めて出産する場合、胎児や母体に実質的にどのようなリスクがあり、それに対してどう対処していくのかなど、夫婦で情報収集して話し合うことが大切です。

### ● 出生前検査・診断

妊娠中にお腹の中にある胎児の状態を検査することです。超音波検査のほかに、子宮の中にある羊水の検査や妊婦の血液を調べるトリプルマーカー検査などがあります。たとえば、ダウン症などの染色体異常がわかったり、胎児の病気がわかったりします。

**照暁** 出生前診断は、結果を聞くまで対処のしようもないので、「願う」しかなかったですね。

**花** 不妊治療で妊娠した人は、授かったことが大事になるので、医師はマイナスの情報をあまり与えないそうです。でも、自ら情報収集している人は多い。出生前診断の選択は個人の自由ですが、診断内容や高齢出産のリスク情報のアナウンスは必要だと思います。

## 感動！我が子の声わかる この子のために頑張れる

**花** 出産後は、「赤ちゃんってあんなに泣くものなの？」と思いました。かつてはうるさいな～と思っていた赤ちゃんの声が、かわいと思えるように180度変わった自分にびっくり。何人も赤ちゃんがいるのに、自分の赤ちゃんの声がわかるようになるんですよ。「いま、うちの子が泣いてる」って。母親になったんだ、と実感しました。  
**照暁** 今までいなかった人がいる…。初めて杏樹を家に連れて帰ったときは不思議でしたよ。当然「責任」の重さも感じました。



**花** 親の役目は、子どもの教育環境を整えてあげることだと思います。晩婚で人生経験がある分、成熟した余裕ある子育てをしたいです。

**照暁** 僕はできるだけ時間を割いて、子どもと一緒にいたい。記憶に残る時間を共に過ごしたいと思って実践しています。

**花** そうね。杏樹も3人でいた方が楽しそう。この子の笑顔を保ち続けることを大切にしたいですね。

**照暁** 若いうちは経済的に苦しいと思うかもしれないけれど、子育てするには体力が先！

**花** そう。期限がある！結婚はさておいても(笑)、妊娠・出産・子育ては早いほうがいいとつくづく思います。

**照暁** この子のためにも頑張らなきゃね。